

令和6年度神奈川県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修

基礎研修 演習資料

資料名	ページ
事前課題説明資料等（講義テキストより）	2
基礎研修 事前課題 参考資料	15
04 サービス担当者会議事前準備シート	16
05 ご本人との面談	17
06-01 サービス等利用計画	18
07 ニーズの整理表	19
08 ニーズの整理表（共同生活援助）	20
09 ニーズの整理表（就B）	21
10 個別支援計画	22
11 個別支援計画（共同生活援助）	23
12 個別支援計画（就B）	24
13 個別支援計画の中間評価（記入様式）	25
14 個別支援計画の中間評価（共同生活援助）	26
15 個別支援計画の中間評価（就B）	27
15 個別支援計画の中間評価（就B）別紙	28
18 個別支援計画（変更案）作成の会議録（共同生活援助）	29
19 個別支援計画（変更案）作成の会議録（就B）	30
20 共同生活援助事業所で行う個別支援計画の一例（変更案）	31
21 就B事業所で行う個別支援計画の一例（変更案）	32
個別支援計画書（参考様式：児童分野）	33
個別支援計画書（参考様式：生活介護）	34
個別支援計画書（参考様式：実地指導）	35
タイムスケジュール演習カリキュラム（タイムスケジュール）	36
基礎研修 演習テキスト 追加スライド	37

特定非営利活動法人

シーガル研修・研究機構

<受講者の皆様へ>

令和6年度 サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者 基礎研修
事前課題について

演習では、事例「水道橋さん」を基に、ニーズ整理、個別支援計画の作成、サービス評価、モニタリングなどの演習を通じて、サービス提供プロセス管理の方法について学びます。

！ご注意ください！ 演習の受付時に、「事前課題①～③」の全てが提出されない場合、演習の受講ができません。演習に受講できない場合、修了証の発行ができません。

I. 事前課題（①～③）の内容と手順

1. 事例「水道橋さん」に関する情報（「01 事例の概要」「02 アセスメントシート」「03 学齢期の情報」）等事前課題の事例詳細資料を熟読し、受講者自身で事例のアセスメントを行います。

※講義動画の視聴前でも取り組める内容です。

<事前課題①-1> “本人を知るための地図”（A4 横）

<事前課題①-2> 事例（水道橋 久さん）の100文字アセスメント（A4 横）

課題内容：事例「水道橋さん」のアセスメントを整理し、事前課題①-1、①-2に記入します。

演習では、事前課題①-1、①-2を使用し、各ロールプレイ、ニーズ整理、個別支援計画作成の演習を行います。

2. サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者のサービス提供プロセスを振り返ります。
※講義動画の視聴後に取り組んでください。講義の内容になりますので、空欄での提出は認められません。

<事前課題②> サービス提供のプロセス（A4 横）

課題内容：講義動画の「【講義3】サービス等利用計画等と個別支援計画の関係」や「【講義5】個別支援計画作成のポイントと手順」の講義資料を復習し、事前課題②の空欄①～⑦を記入します。

3. サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の視点を振り返ります。
※講義動画の視聴後に取り組んでください。講義の内容になりますので、空欄での提出は認められません。

<事前課題③> サービス管理責任者の視点（A4 縦）

課題内容：講義動画の「【講義5】個別支援計画作成のポイントと手順」の講義資料を復習し、事前課題③を記入します。

II. 事前課題の持参・提出

事前課題の持参・提出については各運営団体の指示に従って提出してください。

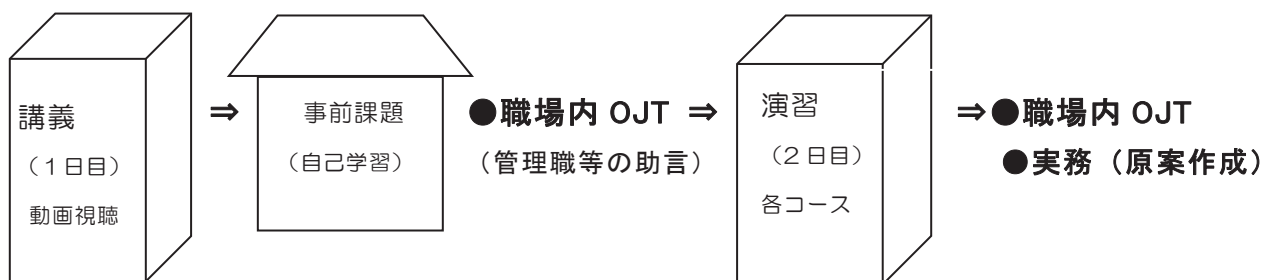
<管理職等の皆様へ>

令和6年度サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修「基礎研修」の事前課題について

(受講生への支援)

- 「基礎研修」は、事前課題（自己学習）と職場外研修（講義動画の視聴・参集による演習）がセットになったプログラムとなっています。そのため、管理職等の皆様におかれましては、受講者の方が職場において研修に臨んでいただく際の助言等の支援（OJT）につきまして、ご配慮いただきますようお願いいたします。
- 「基礎研修課程」修了後に、「実践研修」を受講するためには、2年以上の実務経験が必要です。この2年間の実務経験では、職場でのOJTを進めていくことが重要となります。
- 「基礎研修課程」修了後のOJTを見据えて、本研修の事前課題①-1「本人を知るための地図」①-2「事例（水道橋 久さん）の100文字アセスメント」を取り組む段階から、職場内において受講生へのOJTをお願いいたします。

<研修プログラム>



<事前課題の内容>

- 1 事例「水道橋さん」に関する情報を熟読し、アセスメントを行う。
 - <事前課題①-1>本人を知るための地図
 - <事前課題①-2>事例（水道橋 久さん）の100文字アセスメント
- 2 サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者のサービス提供プロセスを振り返ります。
 - <事前課題②>サービス提供のプロセス
- 3 サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者の視点を振り返ります。
 - <事前課題③>サービス管理責任者の視点

01 事例の概要

この事例の登場人物、施設名等の名称はすべて仮称です。

水道橋 久 さん

記入者 支援センターひまわり 相談支援専門員 六本木はやと

事例タイトル	父親と弟との暮らしが困難になり、グループホームと就 B を利用しながら地域で生活することを希望している事例
相談経過の要約	<p>久さんは、A 市で 2 人兄弟の長男として出生。発語や歩行が少し遅かったが、3 歳児健診などでは特に保健師の指摘事項は無かった。小学校の 1～2 年生の時は普通学級に通っていたが、授業中落ち着きが無く、席を立てて教室内を歩き回り、突然怒りだし友達に手をあげて殴ってしまうことがあった。</p> <p>小学校 3 年生からは、自閉症・情緒支援の特別支援学級に移った。小学校 6 年生の秋に、他の生徒との学力の差、学習環境に馴染めないこと等から、担任からは、中学は特別支援学校への進学を勧められた。その際、児童相談所で療育の判定を受け、軽度の知的障害であった。</p> <p>中学は A 市内にある特別支援学校に進学。中学校での生活は、太鼓部に所属し部活動では楽しく過ごしていた。太鼓部の顧問は、久さんのできる場所は積極的にほめて、苦手なところは根気よく教えてくれた。また昆虫も大好きで、図鑑を見たりしている時は周りの声が聞こえないほど集中していた。同じクラスに昆虫好きの友達がいる。父親が大工だったこともあり、久さんも木工に興味をもって犬小屋をつくった。</p> <p>久さんが中学校 2 年生の秋に両親が離婚。母親が統合失調症で自分のことでせいっぱいで家族の面倒をみられなくなり家を飛び出してしまった。以後、父親と弟の 3 人暮らしとなった。その後、久さんは母親と 1 年に 1～2 回は会っている。離婚後、父親は家のことを何とかこなしていたが、徐々に家の中が乱雑になり、久さんも学校を休みがちになった。</p> <p>久さんは、特別支援学校の高等部を卒業し、製造部品を作る工場に就職。面倒見の良い上司がいて久さんも素直に対応した。上司がわかるまで丁寧に教えてくれて、ときに叱咤激励してくれたことで、安心して働いていた。しかし、1 年後に上司が変わり、その上司が他の職員の対応に追われて、久さんにあまり気を配らなくなった。それから半年後に、久さんは「上司からの注意が怖い」「仕事が集中して取り組めない」などの不安を訴え、工場に通えなくなり、そのまま退職してしまった。それ以降「誰とも会いたくない」と話して、求職活動もなかなかできず自宅でのひきこもり状態の生活になっていた。</p> <p>久さんが退職して半年後、大工をしていた父親が通勤途中で交通事故にあい大けがをした。父親も右半身に麻痺が残り、仕事ができなくなった。最初のころは貯蓄で何とか生活していたが、すぐに生活保護となった。それまで父親が家事などを行っていたので、さらに乱雑な状態となり、食事も偏りが見られた。</p> <p>父親から「久の面倒をみていくことができない。何とか施設に入れてもらえないか」と市役所に相談があり、久さんも「お父さんと離れて、自分で生活できるようになりた</p>

	い」と希望した。久さんは、相談支援センターひまわりで相談を始めて、見学等も行う中「相談しながらやっていきたい」「今は朝も起きられない」「掃除や洗濯、調理もできない」。でも、「いずれ自分のことは自分でできるようになりたい」ので「一人暮らしに向けた準備をしたい」し「すぐに働く自信はないのでそのために力をつけたい」とグループホームを利用しながら、就労継続支援 B 型事業所に通所することを希望した
年齢・性別・家族構成・家族状況・現在の居住歴	年齢 22 歳 性別（男性） A 市で生まれ。 家族構成 父：ももとは大工。以前はとても面倒見が良かった。無職 交通事故で右半身に麻痺が残る。何とか自分のことはこなせるが、子どもたちの世話をすることができなくなっていた。久さんの施設入所を考えていたが、久さんの「自立したい」という気持ちを聞いて、久さんには福祉サービスを利用して自立してほしいと思っている。 母：A 市から少し離れた B 市に居住。生活保護を受給して一人暮らし。統合失調症の治療中で、久さんとの同居は難しい。年に 1～2 回久さんと会っている。 弟：5 歳下。高校 3 年生。高校卒業後は就職する予定だが、兄の面倒までは見られないとのこと。
手帳・区分	療育手帳 障害程度は軽度 障害支援区分 3
生活歴及び病歴	【生活歴】 A 市で生まれ育つ。初語や歩行は少し遅かったが、特に保健師からの指摘事項はなかった。小学校 3 年生から情緒支援学級に通学、中高は特別支援学校に通学。好きなこと（木工や昆虫図鑑を見ること）は集中して取り組むことができるが、興味が無いと席に座っていることができない。また中学・高校は太鼓部に所属し、地域の演奏会などに参加。友達も数人いたが、自分から積極的に作るタイプではなかった。どちらかという受け身的な性格であり、話かけられるのを待つ方だった。困りごとがあっても相談できない。面倒見の良い人がいると素直になって長続きする。 仕事はしたいと思っていたが、またうまくいかないのではないかとあって、求職活動はできずにいた。 【病歴】 中学校進学時に、児童相談所で判定を受け療育手帳を取得。仕事を辞めた後、自宅で引きこもった生活をしてきた。生活保護の担当 CW の勧めもあり、精神科病院に受診。診断名は知的障害。眠剤と安定剤を 1 日 1 回処方されて飲み始めた。受診してからは、夜少し眠れるようになったと話す。
経済状況	障害基礎年金申請中 補足給付：家賃 10,000 円（申請中） 生活保護受給。
相談に至る経緯	父親から久の生活の面倒が見られないので、施設に入所させたいと市役所に相談。
望んでいる暮らし	久さんの希望は、「父親には世話になったので迷惑をかけたくない」「自分のことは自分でできるようになりたい」「困りごと相談したい」「将来は一人で暮らしたい」と思っているが、「今は朝もなかなか起きられない」し「掃除や洗濯、調理もできない」ことに

	<p>困っている。そのため、「3年後ぐらいにはまた働きたい」「今は働くことの自信はないので力をつけたい」「1人でコツコツと集中できる作業が好き」「働くときには優しい上司がいるところが良い」と話している。友達がうまくつくれなことを気にしていて「一緒に遊ぶ友達が欲しい」「昆虫の話ができる友達ができたら最高」と言っている。</p> <p>自分で自立した生活というイメージがまだ持てていないが、周りの人の協力が得られれば、十分地域で生活できると、生活保護の担当者は考えている。</p> <p>久さんは、「3年後には普通に仕事をして立派な男になりたい」と言っている。</p>
本人の状況と最近の様子	<p>久さんは、こちらから話かけるとボソボソと返答するが、話をするのは好きな様子。久さんからの質問はほとんどない。久さんの見た目は年齢相応の好青年である。ただ生活に困窮しているので、服装には少し汚れが目立っていた。相手の話を「はい、はい」と返事をするので、分かっているように見えるが、なかなか理解はできない様子。</p>
その他	<p>父親の右半身に麻痺が残り、これ以上の回復は望めない状態。</p> <p>弟は、普通高校に通い、健康状態の問題は特に無い。</p>

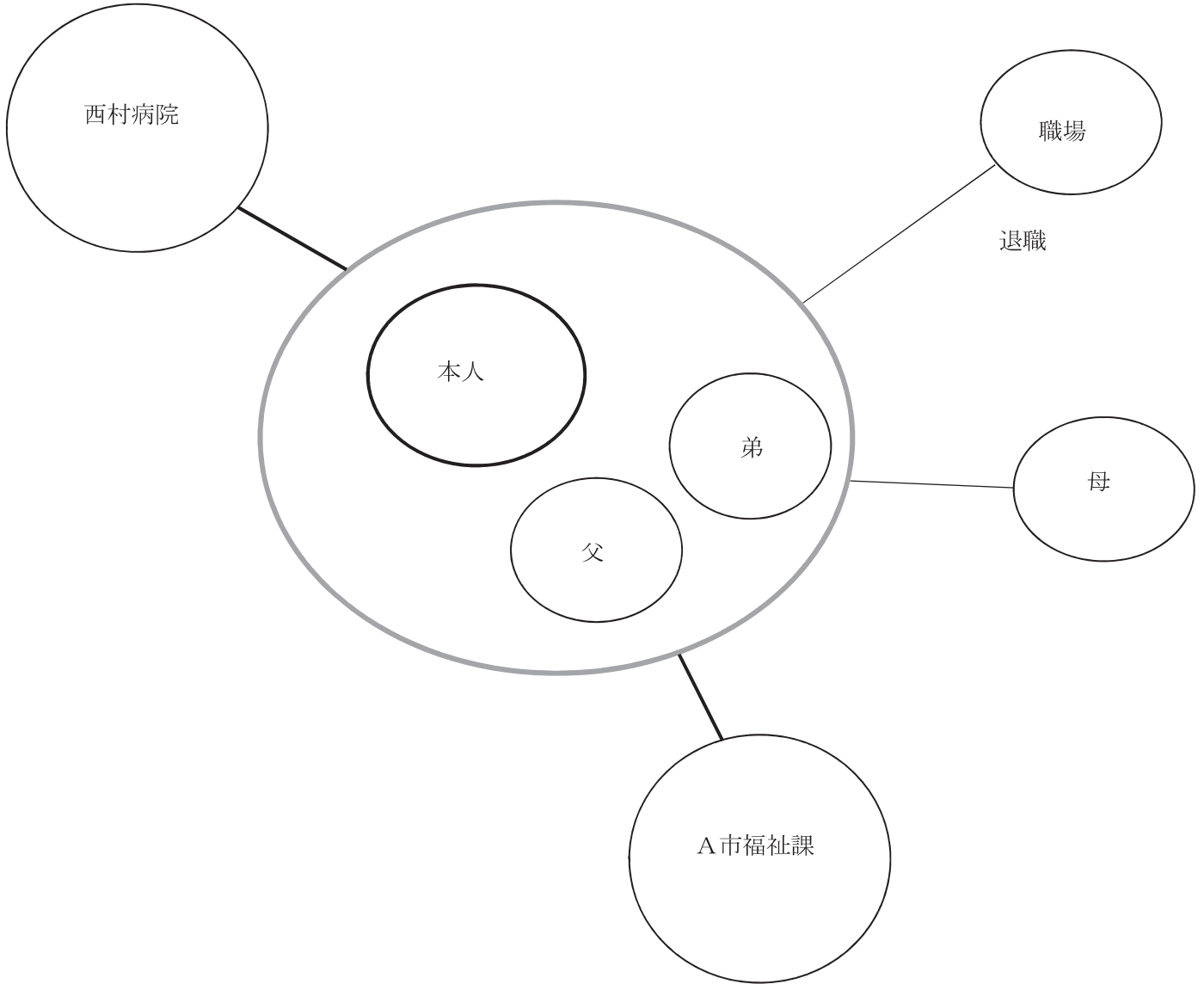
アセスメント表

記録：相談支援センターひまわり 相談支援専門員：六本木はやと

相談日時	20XX+3年6月5日 13時～15時
氏名等	水道橋 久氏、22歳 男性 知的障害（軽度） 障害支援区分 3 （月1回精神科受診）
望んでいる暮らし	<p>全体</p> <p>「父親には世話になったので迷惑をかけたくない」</p> <p>「困りごとは相談したい」</p> <p>「3年後には普通に仕事をして立派な人になりたい」</p> <p>生活面</p> <p>「自分のことは自分でできるようになりたい」</p> <p>「将来は一人で暮らしたい」が「今は朝もなかなか起きられない」し「掃除や洗濯、調理もできない」</p> <p>「一緒に遊ぶ友達が欲しい、昆虫の話ができる友達ができたら最高」</p> <p>就労面</p> <p>「3年後ぐらいにはまた働きたい」</p> <p>「今は働くことの自信はないので力をつけたい」</p> <p>「1人でコツコツと集中できる作業が好き」</p> <p>「働くときには優しい上司がいるところが良い」</p>
心身の状況	<p>身長 175 cm 体重 80 キロ</p> <p>特に問題ない。久さんは最近肥満体形になってきているのを気にしている。</p>
精神面の状況	<p>突然怒り出したりすることは、以前に比べれば少なくなってきた。ただ自分のペースを乱されたり、急かされたりするとイライラする感じが見られる。</p>

	見た目は大人しそう。高校時代の担任の先生は「普段は、穏やかに過ごしていた」「集中している時は、周りの声も耳に入らない」と言われていた。父親を尊敬していて世話になったと思っている。
生活の自立度	朝起きるのが苦手で生活リズムがなかなか安定していない。ADLは自立している。家事は手先が器用なので練習すればできるようになるのではないか。やり方や手順について確認する必要がある。
気持ちの自立度	家を離れた暮らしは全く経験したことがないので、始めは戸惑うこともあると思われる。また、自分の思い通りにならないと、他の方とトラブルになる可能性もあるので、イライラしそうなときには早めに職員に伝えられるとよい。
服薬状況	夜、寝る前の処方のみ。自分で薬の管理ができるように練習している。
経済状況	【収入面】 生活保護 【支出面】 グループホームの費用 家賃 30,000 円（家賃補助 10,000 円） 食費 20,000 円 高熱水費 15,000 円 日用品費 3,000 円 生活費（おこづかい） 20,000 円 金銭管理は、仕訳を手伝えばその金額の中で使用することは可能。ただし欲しい物（菓子・ケーキなど）買いたい気持ちが高まると、浪費してしまうことがある。
趣味	昆虫の図鑑を見ること。手先が器用なので木工が好き。菓子・ケーキ等の買い物など
キーパーソン	父親。交通事故で右半身に麻痺があり自分のことで精一杯な様子。
家族	父方母方の祖父母について 父方の祖母は県外（遠方）にいるが、母方の祖父母は他界している。 両親と暮らしていたころは、年1回は家族で父方祖父母に会いに行っていた。
就労	手先が器用で興味をもつと集中できる。また、面倒見がいい人の話は素直に聞くことができる。しかし、以前の工場での仕事の経験から「人に会うのが怖い」「また注意されるのが心配」と不安感を述べる。「1人でコツコツと集中できる作業が好き。」「働くときには優しい上司がいるところが良い」「3年後には普通に仕事をして立派な人になりたい」といずれしっかり働きたいという意欲はある。移動手段は、徒歩。公共交通機関は、これまでほとんど利用したことがないが、練習しだいでは利用できそうである。

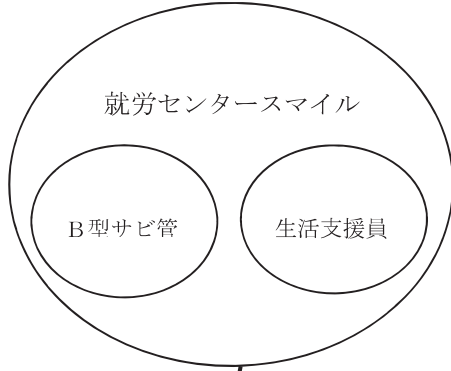
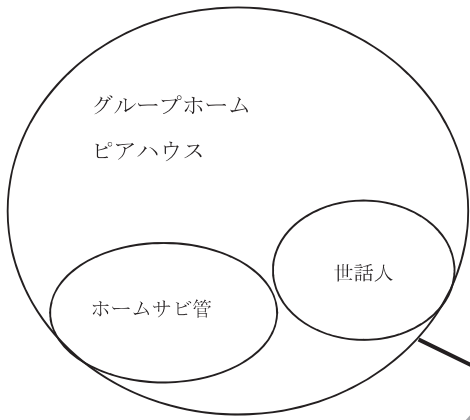
20XX年 9月



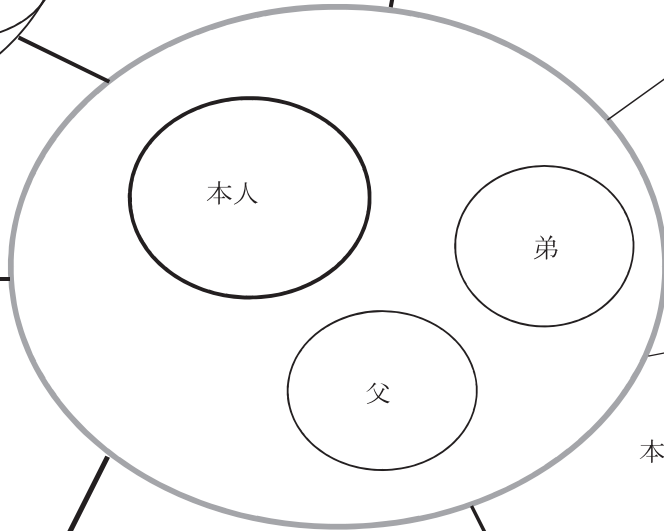
作業を通し経験を増やす

20XX+3年 6月

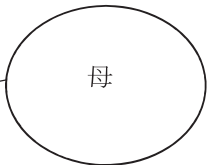
1人暮らしに向けた準備をする



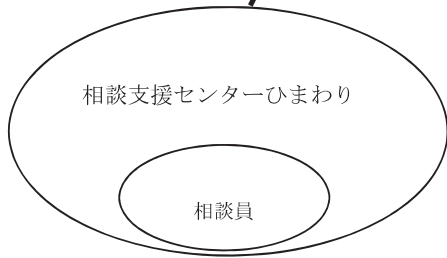
退職



退職後通院



本人が中学2年生の時に別居・離婚



父より相談を受け 相談支援センターを紹介

本人・父の希望を聞き取りサービス調整

02 アセスメントシート

氏名 水道橋 久 記入 相談支援専門員 六本木はやと

項目		介助が いるか	程度	項目	介助が いるか	程度				
日常生活面	起居動作	起き上がり	<input type="checkbox"/> 有	衛生保持	手洗い	<input type="checkbox"/> 有				
		寝返り	<input type="checkbox"/> 有		爪切り	<input type="checkbox"/> 有				
	姿勢保持	座位	<input type="checkbox"/> 有		耳掃除	<input type="checkbox"/> 有				
		立位	<input type="checkbox"/> 有		月経	<input type="checkbox"/> 有				
	移動	屋内	<input type="checkbox"/> 有		行排泄	排尿	<input type="checkbox"/> 有			
		屋外 (徒歩)	<input type="checkbox"/> 有	排便	<input type="checkbox"/> 有					
	衣類着脱	着脱行為	<input type="checkbox"/> 有	食事全般	飲食行為	<input type="checkbox"/> 有				
		服装の選択	<input type="checkbox"/> 有		食事状況	<input type="checkbox"/> 有				
	整容行為	歯磨き	<input type="checkbox"/> 有	食事の後片付け	<input type="checkbox"/> 有	調理全般	調理	<input checked="" type="checkbox"/> 有	やったことがないので支援が必要	
			<input type="checkbox"/> 有	時々めんどうになり声掛けが必要	安全確認		<input checked="" type="checkbox"/> 有	やったことがないので支援が必要		
		洗顔	<input type="checkbox"/> 有	入浴全般	入浴の準備と片付け	<input type="checkbox"/> 有	家事全般	洗濯	<input checked="" type="checkbox"/> 有	やったことがないので支援が必要
		整髪	<input type="checkbox"/> 有	入浴	<input type="checkbox"/> 有	洗濯物干し		<input checked="" type="checkbox"/> 有	やったことがないので支援が必要	
		ひげ剃り	<input type="checkbox"/> 有	掃除	<input checked="" type="checkbox"/> 有	片づけなどは苦手、声掛けが必要				
	化粧	<input type="checkbox"/> 有	衣類整理	<input checked="" type="checkbox"/> 有	片づけなどは苦手、声掛けが必要					
				所持品整理	<input checked="" type="checkbox"/> 有					
				ペットメイク	<input type="checkbox"/> 有					
	特記事項 父親がある程度身の回りのこと（調理、洗濯、掃除など）はやってくれていた。久さんは、積極的に身だしなみを整えたり、片づけたりすることも苦手だが、声掛けがあればなんとか自分でできる。物が多く、部屋に服や小物類が溜まってしまふ。日常生活でやらなければならないことの優先順位がつけられない。家事をやった経験がないが、援助があればできるようになると予測できる（今までの生活の様子から、父親が予測）。朝起きるのが苦手なので、就労継続支援B型の事業所に通う時には遅刻が頻回になることが心配される。									
	コミュニケーション	困ったときに相談しているところ 生活上の支援機関、支援者など 相談支援センター「ひまわり」・・・サービス等利用計画作成 相談支援 就労センター「スマイル」・・・利用予定の就労継続支援B型 グループホーム「ピアハウス」・・・利用予定のグループホーム 西村病院（内科・精神科）・・・外来通院先 意思の表現方法 言葉でのコミュニケーションが十分できる。最初の上司が仕事を教えていた時は、時間がかかるが分かるまで教えてくれたので、本人も安心して仕事ができている。手順が分かれば、呑み込みが早い。ただ自分から積極的に質問するタイプではなく、困ったことや心配なことがあっても自ら相談することができなかった。周りの人は分かっていると思って仕事をすすめてしまうので、本人は分からず少しパニックになってしまうことがあった。								
	社会参加・移動	好きなこと 昆虫の図鑑を見ること。手先が器用なので木工が好き。買い物やゲームなど 嫌いなこと 怖そうな人・すぐに怒りそうな人 移動の方法 徒歩 これまで公共交通機関を利用する機会はなかったが、練習すれば利用できそう								
	家庭生活	グループホームで生活をする予定 家庭での主な介護者 父親 介護者の状況 もともとは大工。交通事故で右半身に麻痺が残り、自分のことをこなすことで精一杯な状況。								
経済状況	主な生活財源 生活保護受給中。 預貯金 0円 就労による収入 0円/月 0円 <input checked="" type="checkbox"/> 基礎年金申請中 <input type="checkbox"/> 障害者特別手当 <input type="checkbox"/> その他 金銭管理は、仕訳を手伝えればその金額の中で使用することは可能。ただし欲しい物（菓子・ケーキなど）買いたい気持ちが高まると、浪費してしまうことがある。									

	項目		程度	特記事項		
		介助が いるか				
行動面	行動面での 障害1	こだわり行動	<input checked="" type="checkbox"/> 有	自分の手順があり、変更されるとパニックになる 近所の人たちからバカにされていると怒っている。 声掛けがあれば身だしなみを整えるが、放っておかれると着替えたりできない。		
		徘徊	<input type="checkbox"/> 有			
		無断外出 無断外泊	<input type="checkbox"/> 有			
		錯覚・幻視・幻聴	<input type="checkbox"/> 有			
		被害妄想	<input checked="" type="checkbox"/> 有			
		自殺願望・企画	<input type="checkbox"/> 有			
		不潔行為	<input checked="" type="checkbox"/> 有			
		異食行為	<input type="checkbox"/> 有			
		収集癖	<input type="checkbox"/> 有			
		物忘れ	<input type="checkbox"/> 有			
	行動面での 障害2	反社会的行為 (盗癖、虚言など)	<input type="checkbox"/> 有	物事の進め方が分からないと起きる。		
		自傷行為	<input type="checkbox"/> 有			
		他者に対する 粗暴行為	<input type="checkbox"/> 有			
		器物に対する 粗暴行為	<input type="checkbox"/> 有			
		奇声や騒がしさ	<input type="checkbox"/> 有			
		パニック	<input checked="" type="checkbox"/> 有			
		多動・行動の停止	<input type="checkbox"/> 有			
		思考障害	<input type="checkbox"/> 有			
		考 感 情 障 害 思	感情不安定		<input checked="" type="checkbox"/> 有	困ってしまうと感情も不安定になる。
			過大・過小評価		<input type="checkbox"/> 有	

特別支援学校卒業後は、製造部品を作る工場に就職していた。面倒見の良い上司の元では、素直に支持を受け入れ、元上司も根気よく教えてくれていたらしく、安心して働いていた。上司が変わり、あまり面倒見てもらえなくなってからは、「上司からの注意が怖い」「仕事が集中して取り組めない」など心配を訴え退職した。

本人は、周りの人からは仕事のことなど分かっているとされるタイプで、仕事が断れない。仕事で困っていても、自分から相談したりできず、どんどん抱え込んでしまい不安をたくさん抱えてしまう。

2年ほど自宅で引きこもり状態。父親が交通事故にあい、右半身に麻痺がのこり、本人の面倒が見られなくなった。

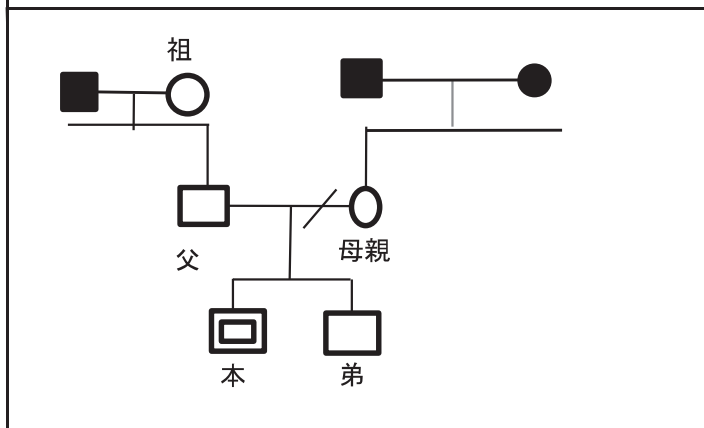
声掛けがあれば、家のことを少し手伝ったが、どのように進めれば良いのか分からなくなってしまいうことが度々あった。調理、洗濯、掃除の仕方など根気よく教えてくれる人がいなかったため、経験が積み重なったのだと思う。

仕事についても、以前の会社で人間関係がこじれてしまって退職したので、働きながら何か困ったときには相談できること、サポートを受けながら就労できるB型事業所の利用を希望した。

見守りの環境が整えば、力を発揮することは可能だと感じる。

《その他》

主治医からは、薬は軽いものなので、生活が安定し、精神的に安定すればいずれ必要がなくなるかもしれない。本人が困っている時に、周りが気づける関係性ができると、これ以上の薬の必要性はないと言う。そのためには生活の場でのサポート体制は欠かせない。SOSを出す力をつけられると思っている。



03 学習期の情報

*以下の情報については、担当の相談支援専門員が水道橋 久さんの過去のことを知る関係者を探し、情報を得たものである。

<p>小学6年生の時に受けた児童相談所における判定状況</p>	<p>I Q 6 8 といった記録はあるが、詳しいデータは不明。</p>
<p>教育関係者からの情報</p>	<p>中学の太鼓部の顧問だった先生より、「中学一年の頃は、よくしゃべる子だった。張り切って何でもやりたがる子だった。幼い頃は、よく動き回る子だったと母親から聞いたことがある。」という話があった。</p>
<p>中学に入学後に母親と相談に行ったことがある専門機関からの情報（その後、年に一回のペースで数回その機関に通っている。離婚後もしばらく母親が連れて行っていた。）</p>	<p>「母親がとても心配そうに久さんを連れてきて、『久はやさしい子です。でも乱暴なところがあるからと、学校から追い出されてしまったんです。何ができていないかを知りたいのです。』と訴えてきたので、印象に残っていますとのこと。（以下のことは、5年前の高等部二年生の時の状態について、聴取したことをまとめたもの。）</p> <p>日付、時刻～よく理解できている。</p> <p>数、数量～計算には時間はかかるが、二桁までの加減は大体良好。三桁になると難しい。買い物の時には、大きな金額の札で支払いおつりをもらっていた。</p> <p>書字～筆圧が弱く、読み取れない字も多く、線が一本抜けていたり、多かったりする。筆順は自分なりの書き方。</p> <p>読み～一、二行の文章はわりとすんなりと読むことができていた。難しい漢字でも知っているところがあった。読み違い（勝手読み）は目立っていた。</p> <p>聞き取り～一対一での指示は入っていくが、集団のおける指示はほとんど入らない。特に周囲で誰かが話しているとその話にも気をとられてしまう。三人以上で話し合うことはかなりストレスになる。早合点してしまうことも目立つ。</p> <p>話すこと～慣れた相手だと、早口になる。筋道の通った話をするのが難しく、何が言いたいのか周りに伝わりにくいことがある。</p> <p>比較・推測すること～予想することは苦手。どうすればいいのかを考えて、自分の考えを述べることも難しい。自分の意思を言葉で表すことはできるが、誰かに言われたことをまねているだけのことも多い。</p>

<p>特別支援学校高等部の元担任からの情報</p>	<p>指導上の留意点について～</p> <p>① 同じような内容のことについても、理解できているときとそうでないときの差が大きい。特に集団の場面では、話したことが届かないことは多かった。</p> <p>② 自分でできないときになかなかヘルプコールが出せない。</p> <p>③ 教えられたことを忠実にやろうとするが、思った通りにならないと、何か理由をつけてやっていることを止めてしまうことがあった。</p> <p>④ 人に認められたい気持ちはとても強く持っており、虚勢を張ってしまうところが度々見られた。</p> <p>⑤ なかなか伝えたことが身につかないときに、繰り返していねいに声をかけていくと腹を立ててしまうことがあった。</p> <p>支援目標を達成していく上で効果が認められたこと～</p> <p>① 作業していく内容については、他の生徒がいない教室で、担任と一対一で見本を示しながら教示していくと、5～6工程の内容でも対応できることは多かった。</p> <p>② やるべきことについての内容とその手順は、料理のレシピのように、写真を添えて文章で示すと、自分で確認しながら取り組めることが多くなった。</p>
---------------------------	---

配付資料 06-01 サービス等利用計画(案)

利用者氏名	水道橋 久さん	障害支援区分	区分3	相談支援事業者名	相談支援センターひまわり		
障害福祉サービス受給者証番号	000XXXX##	利用者負担上限額	0	計画作成担当者	六本木はやと		
地域相談支援受給者証番号	000XXXX??	通所受給者証番号	000XXXX\$\$				
計画作成日	20XX+3年 6月 5日	モニタリング期間(開始年月)	20XX+3年 8月	利用者同意署名欄			
利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)	<p>久さんは、特別支援学校の高等部卒業後一般企業で働いていたが、「上司の注意が怖い。仕事に集中できないうい」と言っていて退職した後はひきこもりがちな生活をしてきた。昨年、父親が交通事故で右半身に後遺症が残り、久さんの面倒を見られなくなった。久さんは、「父親に世話になっていたのが、惑をかけたくない」「3年後には普通に仕事をし立派な人になりたい」「自分のことは自分でできようになりたいたい」という希望を持っているが、「今は朝も起きられない」「働く自信もない」「働けるようになるための準備をしたい」と思っている。また、「困りごとには相談したい」と言う気持ちがある。一人暮らしに向けた準備をするためのグループホームの利用と就労に向けて準備をするための就労継続支援B型の通所を希望している。また、「昆虫の話ができる友達がい」と思っている。父親は「私も体が不自由になってしまいがたの面倒はみられませんか。久には福祉サービスを利用して自立してほしい」と言っている。</p>						
総合的な援助の方針	<p>グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援B型では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できる力をつけることや、生活上の楽しみをみつけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるよう支援する。</p>						
長期目標	<p>① グループホームでは、掃除や洗濯、調理等の生活していくうえでの力をつける。 ② 就労継続支援B型事業所では、仕事を続けていくうえでの自信をつける。 ③ 相談する力をつける。 ④ この間に見つけた昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみを継続する。</p>						
短期目標	<p>① グループホームの日常生活に慣れる。 ② 就労継続支援B型事業所の作業に慣れる。 ③ わからないことや困っていることを相談する。 ④ 昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみについて相談する。</p>						
優先順位	解決すべき課題(本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等 種類・内容・量(頻度・時間)	課題解決のための 本人の役割	評価 時期	その他留意事項
1	グループホームで一人暮らしに向けた準備をしたい。	グループホームの生活に慣れて、掃除や洗濯、調理等自分ですること増やす。	1ヶ月	グループホーム 毎日	スケジュールを覚えて生活リズムを身につける。 掃除や洗濯、調理の仕方は、世話人さんに教えてもらいます。	3ヶ月	*朝なかなか起きることができない
1	今は働くことには自信がないのでそのための力をつけたい。	いろいろな作業経験を積んで得意なことを見つかる。	1ヶ月	就労継続支援B型 月～金	就労継続支援事業所での作業を通して経験を増やします。	3ヶ月	*朝なかなか起きることができない
3	困りごとは相談したい。	生活のこと、仕事のこと、困ったり、不安だったたりしたことを相談できようになる	6ヶ月	グループホーム 毎日 就労継続支援B型 月～金 相談支援事業所 随時 病院 4週間に1回 土曜	グループホームで一日の出来事を報告します。 仕事については、就労継続支援事業所で相談します。 服薬をして定期的に通院します。	1ヶ月	
4	楽しみをみつけたい。	昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみについて話を聴きます。	6ヶ月	グループホーム 就労継続支援B型 相談支援事業所	昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみについて話を聴かせてください。	3か月	

サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者 基礎研修 事前課題 参考資料

「就労継続支援B型」

一般の企業・事業所に雇用されることが困難な障害者に対し、就労に必要な知識と能力の向上を図る訓練などを行う事業所です。

利用者は事業所が提供する生産活動に取り組みながら就労に必要な知識と能力の向上を目指し、職員はそれに向けた支援を提供しています。

一般企業での就労を目指したいが、まだ自信がない方や、福祉的支援を受けながら働きたい方が利用しています。事業所が提供する生産活動には、自主生産品の製造販売、受注作業・請負作業、飲食店運営など幅広い作業があり、労働の対価として工賃が支払われています。

日常的な生産活動以外で、行事や外出などの社会活動の提供をする事業所もあります。

事前課題 就労継続支援B型事業所「スマイル」のイメージ



施設外就労の様子

1日のながれ (例)

- 9:30 作業開始
- 10:30 休憩
- 12:00 昼休憩
- 13:00 作業
- 15:00 休憩
- 16:00 作業終了・帰宅

*年中行事やイベントなどを実施している事業所もあります

資料提供：株式会社アプニス

「共同生活援助」(グループホーム)

地域での少人数の共同生活を支援する事業所です。

共同生活を営む住居で相談、入浴、排せつまたは食事の介護、その他の日常生活上の援助を行いますが、決められた支援があるのではなく、その利用者(入居者)の希望や状態・特性に応じて、生活をするうえで一人一人に必要な支援を提供しています。

共同住居の形態は様々で、事例のように一軒家などで共同生活をする「シェアハウスタイプ」のほか、ワンルームアパートなどを活用した「アパートタイプ」などがあり、いずれも共有スペースを有しています。支援体制についても、食事提供の有無や職員(世話人)のいる時間帯、夜間・休日の対応などはホームごとに異なり、季節ごとの行事やイベントなど、休日の余暇を提供するホームが多いです。

居室は入居者のプライベートスペースであり、各自の生活スタイルに合わせて自由にアレンジしています。

事前課題 共同生活援助「ピアハウス」のイメージ



共有スペース
(リビング)



入居者の居室

1日のながれ (例)

- 7:00 朝食
- 8:30 入居者通所

*休日は各自が自由に過ごす

- 17:00 入所者帰宅
- 19:00 夕食

*実際には各入居者の生活スタイルによって外出や食事時間などは変わってきます

資料提供：一般社団法人REAVA

04 サービス担当者会議 事前準備シート

確認が必要な事項(誰に何を確認する?)

本人、父親、相談支援専門員、A市福祉課、
※共同生活援助・サービス管理責任者、共同生活援助・世話人、
※就労継続支援B型・サービス管理責任者、就労継続支援B型・生活支援員

ご本人に確認したい事項

ご家族に確認したい事項

関係機関(GH、就B、相談、市役所)に確認したい事項

その他

※各サービス管理責任者の立場での確認事項、意見を述べる事項を整理してください。

05 ご本人との面談

ご本人との面接映像をみて感じたことは？

	すべし	すべからず
面談1		
面談2		

配付資料 06-01 サービス等利用計画(案)

利用者氏名	水道橋 久さん	障害支援区分	区分 3	相談支援事業者名	相談支援センターひまわり		
障害福祉サービス受給者証番号	000XXX##	利用者負担上限額	0	計画作成担当者	六本木はやと		
地域相談支援受給者証番号	000XXX??	通所受給者証番号	000XXX\$\$				
計画作成日	20XX+3年 6月 5日	モニタリング期間(開始年月)	20XX+3年 8月	利用者同意署名欄			
利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)	<p>久さんは、特別支援学校の高等部卒業後一般企業で働いていたが、「上司の注意が怖い。仕事に集中できないうい」と言っていて、退職した後はひきこもりがち生活をしてきた。昨年、父親が交通事故で右半身に後遺症が残り、久さんの面倒を見られなくなった。久さんは、「父親に世話になってたので迷惑をかけたくなくない」「3年後には普通に仕事をしたい」「自分のことは自分でできるよ」という希望を持っているが、「今は朝も起きられない」「働く自信もない」のでそのための準備をしようと思っている。また、「困りごととは相談したい」という気持ちがある。一人暮らしにむけての準備をするためのグループホームの利用と就労に向けて準備をするための就労継続支援B型の通所を希望している。また、「昆虫の話ができる友達がい」と思っている。父親は「私も体が不自由になってしまえば面倒はみられませぬ。久には福祉サービスを利用して自立してほしい」と言っている。</p>						
総合的な援助の方針	<p>グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援B型では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できることや、生活上の楽しみをつけることで、「自分のことは自分でできるよ」という目標が達成できるよよう支援する。</p>						
長期目標	<p>① グループホームでは、掃除や洗濯、調理等の生活していくうえでの力をつける。 ② 就労継続支援B型事業所では、仕事を続けていくうえでの自信をつける。 ③ 相談する力をつける。 ④ この間に見つけた昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみを継続する。</p>						
短期目標	<p>① グループホームの日常生活に慣れる。 ② 就労継続支援B型事業所の作業に慣れる。 ③ わからないういことや困っていることを相談する。 ④ 昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみについて相談する。</p>						
優先順位	解決すべき課題(本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等 種類・内容・量(頻度・時間)	課題解決のための 本人の役割	評価 時期	その他留意事項
1	グループホームで一人暮らしに向けた準備をしたい。	グループホームの生活に慣れて、掃除や洗濯、調理等自分ですること増やす。	12ヶ月	グループホーム 毎日	スケジュールを覚えて生活リズムを身に着ける。 掃除や洗濯、調理の仕方は、世話人さんに教えてもらいます。	3ヶ月	*朝なかなか起きることができない
1	今は働くことに自信がないのでそのための力をつけたい。	いろいろな作業経験を積んで得意なことを見つける。	12ヶ月	就労継続支援B型 月～金	就労継続支援事業所での作業を通して経験を増やします。	3ヶ月	*朝なかなか起きることができない
3	困りごとは相談したい。	生活のこと、仕事のこと、困ったり、不安だったたりしたことを相談できようになる。	6ヶ月	グループホーム 毎日 就労継続支援B型 月～金 相談支援事業所 随時 病院 4週間に1回 土曜	グループホームで一日の出来事を報告します。 仕事については、就労継続支援事業所で相談します。 服薬をして定期的に通院します。	1ヶ月	
4	楽しみをみつけた。	昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみについて話を聴きます。	6ヶ月	グループホーム 就労継続支援B型 相談支援事業所	昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみについて話を聴かせてください。	3か月	

07 ニーズの整理表

グループ

利用者名
さん

No.	①サービス等利用計画で整理された解決すべき課題 (本人のニーズ)	②初期状態の評価(利用者の状況・環境の状況)	③利用者(性格特性・素質・興味関心)・環境の強み	④支援者の気になること・推測できること(支援の可能性)	⑤願いや希望を満たすための具体的な到達目標
	<p>グループホームで一人暮らしに向けた準備をしたい。</p> <p>今は働くことに自信がないのでそのための力をつけたい。</p> <p>困りごととは相談したい。</p> <p>楽しみをみつきたい。</p>	<p>知的障害(軽度)障害支援区分3</p> <p>3年生から情緒支援の特別学級に移り、小学6年生の時、軽度の知的障害の判定を受けた。中学からは特別支援学校へ、その後高等部に進学。</p> <p>高等部卒業後、製造部品の工場に就職。面倒見の良い上司のもと1年間働いたが、上司が変わってからは、不安を訴えて退職。以後、引きこもりがちな生活をしていった。</p>			

No.	①サービス等利用計画で整理された解決すべき課題 (本人のニーズ)	②初期状態の評価(利用者の状況・環境の状況)	③利用者(性格特性・素質・興味関心)・環境の強み	④支援者の気になること・推測できること(支援の可能性)	⑤願いや希望を満たすための具体的な到達目標
	<p>グループホームで一人暮らしに向けた準備をしたい。</p> <p>今は働くことに自信がないのでそのための力をつけたい。</p> <p>困りごとは相談したい。</p> <p>楽しみをみつきたい。</p>	<p>知的障害(軽度)障害支援区分3</p> <p>3年生から情緒支援の特別学級に移り、小学6年生の時、軽度の知的障害の判定を受けた。中学からは特別支援学校へ、その後高等部に進学。</p> <p>高等部卒業後、製造部品の工場に就職。面倒見の良い上司のもと1年間働いたが、上司が変わってからは、不安を訴えて退職。以後、引きこもりがちな生活をしていった。</p> <p>困りごとが有っても相談できない。面倒見の良い人がいると素直になって長続きする</p> <p>趣味は、昆虫の図鑑を見ること、手先が器用なので木工が好き。お菓子やケーキなどの買い物が好き。</p>	<p>自分の事は自分でできようになりたいと前向きな思いがある</p> <p>一人でコツコツ集中できる作業が好き</p> <p>就労意欲がある・将来の目標がある</p> <p>朝起きられない自覚がある</p> <p>迷惑をかけたくないという家族思い</p> <p>金銭管理は仕分けを手伝えれば使用可</p> <p>丁寧に教わると安心できる</p> <p>好きなことに集中して取り組む事ができる</p> <p>遊んだり、趣味を共有できる友人を欲しいと思っている</p> <p>支援チームがある</p>	<p>世話人が使い方ややり方を丁寧に教える事で生活スキルを身につけ、自分でできる事が増え自信につながるのでは</p> <p>目覚ましを利用し、起きられない場合は世話人が声を掛ける事で起きられない不安は解消できるのでは</p> <p>誰にいつ相談できるのか明確にすることで安心感を持った生活につながるのでは</p> <p>楽しいと思える事を一緒に探す事で楽しみの幅が広がるのでは</p>	<p>○掃除や洗濯、調理等自分が出来る事を増やしていきたい</p> <p>○朝、起きる時間を決めて自分で起きて仕事に行けるようになりたい。</p> <p>○生活上のわからないことや困りごとを相談できるようにしたい</p> <p>○楽しみをみつきたい</p>

No.	① サービス等利用計画で整理された解決すべき課題 (本人のニーズ)	② 初期状態の評価(利用者の状況・環境の状況)	③ 利用者(性格特性・素質・興味関心)・環境の強み	④ 支援者の気になること・推測できること(支援の可能性)	⑤ 願いや希望を満たすための具体的な到達目標
	<p>グループホームで一人暮らしに向けた準備をしたい。</p> <p>今は働くことに自信がないのでそのための力をつけたい。</p> <p>困りごとは相談したい。</p> <p>楽しみをみつけない。</p>	<p>知的障害(軽度)障害支援区分3</p> <p>3年生から情緒支援の特別学級に移り、小学6年生の時、軽度の知的障害の判定を受けた。中学からは特別支援学校へ、その後高等部に進学。</p> <p>高等部卒業後、製造部品の工場に就職。面倒見の良い上司のもと1年間働いたが、上司が変わってからは、不安を訴えて退職。以後、引きこもりがちな生活をしていった。</p> <p>困っても自ら相談できない。会話はできるが自分の意思を正確に伝えることは難しい。</p> <p>趣味は、昆虫の図鑑を見ること。昆虫の話ができる友達が多いと思っている。</p>	<p>3年後を目的に一般就労したいと前向きな思いがある。</p> <p>1人でコツコツ集中できる作業が好き</p> <p>公共交通機関は練習すれば利用できそう</p> <p>朝起きられない自覚がある</p> <p>迷惑をかけたくないという家族思い</p> <p>自立したいという気持ちが高い</p> <p>1対1で丁寧に話をすると安心して話ができる</p> <p>好きなことに集中して取り組む事ができる</p> <p>遊んだり、趣味を共有できる友人を欲しいと思っている。</p> <p>支援チームがある</p>	<p>様々な作業を体験する事で得意な事を知り、出来ることを増やして、自信を取り戻したい</p> <p>集中して取り組める作業環境を提供した方がよいのでは</p> <p>生活支援員がバスと一緒に乗降し習熟に合わせて見守りへ移行する事で一人で通う事が可能では</p> <p>誰にいつ相談できるのか明確にすることで安心感を持った生活につながるのでは</p> <p>楽しいと思える事を一緒に探す事で楽しみの幅が広がるのでは</p> <p>○楽しみをみつけたい</p>	<p>○遅刻せずに事業所に通所したい。</p> <p>○困ったり、不安なことがあるば、すぐに相談できるようにしたい。</p>

10 個別支援計画

グループ

利用者氏名：

作成年月日

サービス等利用計画の総合的な方針

グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援B型では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できる力をつけることや、生活上の楽しみをみつけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるよう支援する。

ご本人の希望や願い（到達目標）

長期目標（内容・期間等）

短期目標（内容・期間等）

具体的な到達目標及び支援計画等

具体的 到達目標	本人の役割	支援内容 (内容・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先 順位

上記の計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意致しました。

年 月 日 利用者氏名

サービス管理責任者氏名

印

印

利用者氏名： 水道橋 久さん

作成年月日 年 月 日

【サービス等利用計画の総合的な方針】

グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援B型では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できる力をつけることや、生活上の楽しみをみつけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるよう支援する。

【ご本人の希望や願い(到達目標)】

掃除や洗濯、調理など生活していく上での力をつけて、自分のことは自分でできるようになることを目指す。

【短期目標】 ① グループホームの生活に慣れる。② 決まった時間に起きる。③ 困りごとを相談する。④ 生活上の楽しみをみつけるための相談をする。

【長期目標】 ① 掃除や洗濯、調理などの生活していく上での力や生活リズムを身に付ける。② わからないことや困りごとや相談して解決できるようになる。③ この間にみつけた生活上の楽しみを続ける。

具体的な到達目標及び支援計画等

具体的到達目標	本人の役割	支援内容 (内容・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先順位
自分で出来る事を増やしていきたい。	掃除や洗濯、調理など、まずは出来る事からやってみます。わからない時には、豊田さん、名古屋さんに相談します。	調理器具の使い方や料理の作り方、洗濯機の使い方や干し方、掃除機のかけ方などを丁寧に教えます。	毎日	豊田(世話人) 名古屋 (生活支援員)	3
朝、起きる時間を決めて、自分で起きて仕事に行けるようになりたい。	目覚ましをかけて自分で決められた時間に起きるようにします。	目覚ましを鳴り続けていて、起きてこない時には、職員が声を掛けさせてもらいます。起きられない時間が続くようであれば眠前薬の時間を相談します。	月～、金の朝7時頃	豊田(世話人) 名古屋 (生活支援員)	2
生活上のわからないことや困りごとを相談できるようになりたい。	わからないことや困りごとは早めに相談します。まずは、毎日の出来事を豊田さん、名古屋さんに話すことから始めます。	わからないことや困りごとはいつでも話を聞きます。まずは、毎日の出来事について話を聞きます。	わからない時、困った時はいつでも 毎日 夕方 5時頃	豊田(世話人) 名古屋 (生活支援員)	1
楽しみをみつけたい。	昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみについて話をしてください。	久さんが、楽しいと思うことを一緒に探したいと思います。	第2・第4土曜日 朝 10時	川崎(サビ管)	2

上記の計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意致しました。

確認年月日：

年 月 日 利用者氏名

印

サービス管理責任者氏名

川崎 まさお

印

利用者氏名： 水道橋 久さん

作成年月日 _____ 年 月 日

【サービス等利用計画の総合的な方針】

グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援B型では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できる力をつけることや、生活上の楽しみをみつけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるよう支援する。

【ご本人の希望や願い(到達目標)】

自分のやりたい仕事、自分に合う仕事を見つけ、3年後には一般就労をして立派な男になる

【短期目標】

- ① 作業手順を覚えて、作業に慣れる。② バス通所にチャレンジする。
- ③ 困ったり、不安なことがあれば、すぐに相談する。

【長期目標】

- ① 働くための力をつけるために様々な作業体験を積んで自信をつける
- ② 困ったり、不安なことを相談して解決できるようにになる

具体的な到達目標及び支援計画等

具体的到達目標	本人の役割	支援内容 (内容・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先 順位
自分の得手を知り、できることを増やして、働く自信を取り戻したい。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の得手・不得手を分析するために様々な作業を体験しよう。 まずは、1人でコツコツと集中できる組立作業に取り組みましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な作業体験ができるような就労アセスメントのプログラムを作ります。 少人数のグループで、得意な組立作業を体験できるようにします。 	月～金 9:30～16:00	松阪 (職業指導員)	1
遅刻をせずに事業所に通所したい。 バスを利用しての通所ができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> 自分で決めた時間に起きよう。 バス通所にチャレンジしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> バスの乗り方を覚えるために生活支援員と一緒にバスに乗降します。・乗り方を覚えたら、一人でバスに乗降できるようにバス停で見守りをします。 ご希望がある時は、グループホームのサビ管や世話人と連絡を取り合い、支援することができます。 	月～金 8:45～9:15 16:30～17:00	鈴木(生活支援員) 本田(サビ管)	2
困ったり、不安なことがあれば、すぐに相談できるようにになりたい。	<ul style="list-style-type: none"> 困ったことや心配事がある時は、スタッフに伝えましょう。 気持ち不安定になり、イライラしそうな時は、すぐに相談しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎週、面談をする時間を作りますので、何でも話して下さい。 何か困ったことや心配事があった時にはいつでも話を聞きます。 	面談:毎週水曜日 13:00～ 困った時・不安な時はいつでも	本田(サビ管) 松阪(職業指導員) 鈴木(生活支援員)	2
楽しみをみつきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 好きな昆虫図鑑のこと、友達関係のこと等、話をしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しみを見つけるために、スタッフと一対一で話ができる時間を作ります。 	第3月曜日 9:30～10:00	鈴木 (生活支援員)	3

上記の計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意致しました。

就労継続支援B型事業所「スマイル」

確認年月日: _____ 年 月 日 利用者氏名 _____

印 _____

サービス管理責任者氏名 _____

本 田 一 郎

印 _____

13 (記入様式) 個別支援計画の中間評価

利用者名

到達目標	達成状況の評価				現状・達成されない原因の分析等	今後の対応(支援内容・方法の変更等)	優先順位
	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成			
1	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成			
2	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成			
3	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成			
4	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成			

14 個別支援計画の中間評価(共同生活援助)

到達目標		達成状況の評価			現状・達成されない原因の分析等	今後の対応(支援内容・方法の変更等)	優先順位
1	自分のできることを増やして行きたい	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・スマイルに通所することには張合いがあるようだ。 ・毎日こまめに家事をしているが、はじめたばかりで頑張り過ぎて、好きなことをする余裕がないのでは。 	
2	朝、起きる時間を決めて、自分で起きて仕事に行けるようになりたい	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・生活していく上での力をつけたい気持ち強いが、毎日の生活に追われて、心にも体にも余裕がない。そのため、自分はダメだと思ってしまうようだ。 	
3	生活上のわからないことや困り事を相談できるようにになりたい	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・スマイルの通所を減らして、身のまわりのことに集中する日をつくったほうが気持ちに余裕が持てるのではないか。 ・久さんの本音も、スマイルでの様子も知りたい。ピアハウスでの様子もお知らせして、久さんの希望にあった生活を支援したい。 	
4	楽しみをみつけた	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・次回のサービスタリダングの際に、話し合う必要がある。 	

15 個別支援計画の中間評価(就労継続支援B型)

利用者名 水道橋 久さん		優先順位			
到達目標	達成状況の評価	現状・達成されない原因の分析等	今後の対応(支援内容・方法の変更等)	優先順位	
1 自分の得手を知り、でき ることを増やして、働 く自信を取り戻したい。	達成 ほぼ達成 一部達成 未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・スマイルでの活動には慣れてきた様子。 ・詳細な評価は、別紙、就労アセスメント結果表を参照。 ・手順書や丁寧な説明があれば、集中して作業に取り組むことができ、作業の正確性や巧緻性も高く、この点はセールスポイントにできる。 ・環境の変化や予定の変更がある時にパニックにならず解決できるような方法を一緒に探す支援が必要。 ・時々就労についての不安を話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スマイルの利用はこのまま続けたいと思っているが、生活との両立がうまくできない様子。 また、就労に向けての不安があり、気持ちの整理ができないう様子。 以上のことを確認するためにも、サービ ス担当者会議を開催して、ご本人・支援 者が改めて話し合う必要がある。 		
2 遅刻をせずに事業所 に通所したい。 バスを利用しての通 所ができるようになる。	達成 ほぼ達成 一部達成 未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・バス通所(慣れたところ)はできるようになった。 ・最近、朝起きるに、バスに乗り遅れることがある。 ・遅刻連絡はできている。 ・疲れた様子で通所してくる時もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の生活に追われて、心身ともに余裕がない様子。 今後就労に向かうためにも、日常生活を見直し、生活リズムを整えることを優先した支援が必要。 そのため、グループホームとの連携を密にして生活の様子を把握した上で支援の見直しをする。 		
3 困ったり、不安なこと があれば、すぐに相談 できるようにしたい。	達成 ほぼ達成 一部達成 未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週水曜日に面談の時間をもったが、自分の気持ちをうまく伝えることができず、今後、面談の進め方などにスタッフ側の工夫が必要。 ・自分のペースを乱されたり、せかされると、感情のコントロールができず、イライラしたりパニックになるのは、自分でもわかっている様子。すぐに相談に来れるような支援が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・木工や製造のプログラムに参加。傍ら、色々な経験をして得意なものを探すため、下請け作業もしている。 器用さを活かして、品質は高い。 		
4 楽しみをみつきたい。	達成 ほぼ達成 一部達成 未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・昆虫博物館に行きたいと話している。 ・自分では予定を決められない様子。 ・博物館視察を、希望者を募り、事業所の社会生活活動のひとつとして取り組めないか検討している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に自信がなく、しばしば自分はダメだと思い悩むことがあるよう。 就労アセスメントの結果を用いて、ご本人の得手として評価できることを丁寧に伝え、その上で、強みを伸ばし、弱みを支援するという意識合わせをしていく必要がある。 		

15 個別支援計画の中間評価(就労継続支援B型) 別紙
【就労アセスメント結果票】 氏名 水道橋 久さん

評価項目		セールスポイント	問題なし	努力ポイント	所見
健康管理	1 服薬管理		○		
	2 体調管理			○	「疲れて余裕がない」と話すことがある
	3 食事栄養管理		○		
日常生活管理	4 基本的な生活リズム			○	朝起きられないことがある
	5 金銭管理		○		
	6 余暇の過ごし方		○		
対人技能	7 交通機関の利用		○		バス通所はできるようになった。 自分のペースを乱されたり、急かされたりするとイライラしたり、パニックになることがある
	8 感情のコントロール			○	自分なりに距離をとっている様子
	9 苦手な人との接し方		○		丁寧な説明があるとパニックにならずに対応できる
基本的労働習慣	10 注意されたときの対応		○		大集団の中では他の人が気になり落ち着かない様子
	11 協調性		○		自分で欠席・遅刻の連絡はできる
	12 欠勤等の連絡		○		慣れた人には丁寧にあいさつができる
職業適性	13 あいさつ		○		会話ができるが、内容を正確に理解すること、自分の意思を正確に伝えることは難しい
	14 会話・言葉づかい		○		自ら報告、連絡することは苦手だがマニュアル化すればできる
	15 作業上の報告・連絡		○		1日3時間程度の作業に従事できるが、精神面に左右される
職業適性	16 規則の遵守		○		手順書があればできる
	17 体力		○		興味をもつと集中できる
	18 仕事の準備と後片付け		○		環境の変化によってムラがあるが、少しずつ向上している
職業適性	19 集中力の維持		○		早合点したり、わかっていない時でも返事をしたりするが、丁寧に説明すると理解できる
	20 作業能力の向上		○		手順書があれば、作業をミスなくできる
	21 指示の内容の理解		○		手先が器用である
職業適性	22 作業の正確性		○		意欲はあるが、不安になると引きこもってしまう
	23 巧緻性		○		
	24 危険への対処		○		
25 作業意欲			○		

18 個別支援計画(変更案)作成の会議録(共同生活援助)

作成日: R●/●/●

利用者氏名	水道橋久さん	事業者名	グループホームピアハウス
開催日時	R●/●/● (●)	サービス管理責任者氏名	川崎まさお
開催場所	グループホームピアハウス「スタッフルーム」		
会議出席者	所属	氏名	氏名
	ご本人	水道橋久さん	豊田のぞみ
	管理者	大阪みずほ	小玉ひかり
	生活支援員	名古屋はやて	川崎まさお
現状および検討事項			
<p>○個別支援計画のモニタリング(中間評価)表参照</p> <p>○久さん 就労に向けては、「父親に世話になったので迷惑をかけたくない」という気持ちは変わら ずあり、「3年後ぐらいにはまた働きたい」という意欲はあるが、朝起きられずグループホー ムの生活にまだ慣れないという心配も話してくれる。自分ではどうしたいのかを決められ ないが、就労訓練は継続したいと思っている。 毎日の生活に追われて心身ともに余裕がなく、「自分だけだめだな」と思う。 「昆虫の博物館」に行ってみたい気持ちはあるが、仕事に疲れてなかなか行けない。 自室の掃除や洗濯をするのが億劫になりできないことが多い。 遅刻も増えている。</p> <p>○川崎(サービス管理責任者) 就労継続B型事業所スマイルの生活支援員からの情報を報告。 スマイルでは、製造や木工の作業を中心にプログラムを組んでいる。なるべく一人で集 中できる作業環境を用意して取り組んでいる。 手先は器用であり、完成させる作業の質は高い。しかし、持続力がなく、午後か らは疲れてしまふ様子がうかがえた。基本作業時間を3時間に延ばすことを試行したが現時 点では困難だと判断していた。 毎週水曜日に面談の日を設けていて、「仕事は大丈夫です」と答えるが、自分の本心か ら言っているのかは定かではなく、どのように支援していけば良いのかわ迷っているとのこと。</p> <p>○豊田(世話人) 朝7時に目覚ましをセットしているが、1週間のうちに起きられた日は2日ほどあるかど うか。 洗濯と掃除、調理はこまめに行っている。しかし洗濯などは、毎日する必要はあるの? て、世話人が思うほど取り組もうとしている。また調理も毎日頑張ろうとしているので、こちら で洗濯と掃除、調理を行う曜日や時間を相談しながら決めてはどうか。本日は、夕食後 に、楽しみにしている昆虫図鑑を見たりしたいようだが、疲れている様子で早く寝てしま う。しかし朝も起きられない。 以前にやりたい希望に話してくれた「昆虫博物館に行く」ことも、土日のお休みも疲れて いて、外出する気はおきかない様子。</p>			
今後の課題 および確認等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後就労に向かうためにも、日常生活を見直し、生活リズムを整え、生活リズムを整えることを優先した支援が必要。そのため、就労支援事業所との連携を密にして支援の見直しをする。 ・ご本人が朝が起きられず、疲れている様子もうかがわれ、楽しみをする時間も毎日の時間設定を行い、ご本人の強みを伸ばし、弱みを支援するという方向で、プログラムや支援を組み立てる。 		
<p>○検討事項</p> <p>① 朝起きることができず、遅刻してしまうことが増えてきているので、安心して過ごせるリズムを考えていく。</p> <p>② 掃除や洗濯、調理は少し負担になってきている部分もあるので、1週間のなかでパ ランス良く計画を立てることを検討する。</p> <p>③ 楽しいことをする時間がなかなかとれないので、楽しむ時間を考えていく。</p> <p>○対応</p> <p>① 自宅から出て、グループホーム入居と就労訓練が併行して始まり、ご本人にとっ て、初体験することや新しいことが重なり、心身ともにストレスがかかっているように見え る。久さんの気持ちの迷いや、自分一人では整理できない思い等があるため、早めの サービス担当者会議(モニタリング)を開催してもらいサービスの調整を行う。サビ管から 相談支援専門員に連絡、依頼する。今後は、就労支援事業所スマイルと密に連携をとっ て、支援を組み立てていく。</p> <p>② 「就労したい」という気持ちは確認できるが、朝起きられなかったり、夜は疲れている 様子もうかがえる。掃除、洗濯や調理もがんばってやろうという意欲は十分感じるので、 その気持ちは大切にしていきたい。久さんがゆとりをもつてできるようにするために、丁寧 に説明し、あまり詰め込みすぎないようにガス抜きを伝えていく。 サビ管から1週間の過ごし方について話し合い、少しゆとりをもった生活ができるように 本人と一緒に考えていく。</p> <p>グループホームの日課や週案については、この会議で案を作成し、後日、改めて久さ んの気持ちを確認し、同意をもらい実施する。 具体的には、 ご本人が楽しみにしている時間を確保できるように、ゆとりをもつたような支援をす る。③ 楽しいことをする時間をあらかじめ1週間予定や毎日の時間設定を行い、ご本人の、</p>			

19 個別支援計画(変更案)作成の会議録(就労継続支援B型)

作成日: R●/●/●

利用者氏名	水道橋 久さん	事業者名	就労継続支援B型事業所「スマイル」
開催日時	R●/●/● (●)	サービス管理責任者氏名	本田 一郎
開催場所	就労継続支援B型事業所「スマイル」 相談室		
会議出席者	所属	氏名	氏名
	ご本人	水道橋 久さん	松阪てるお
	管理者	所沢洋子	熊野ゆうこ
	生活支援員	鈴木さくら	サービス管理責任者 本田 一郎
現状および検討事項			
<p>○個別支援計画のモニタリング(中間評価)表参照</p> <p>○ご本人から 就労に向けては、3年後には就職したいという気持ちと、このままでよいという二つの気持ちがあり、自分ではどうしたいのかを決められたい。就労訓練は継続したいと思っている。毎日の生活に追われて心身ともに余裕がなく、「自分だけだ」と思う。自室の掃除や洗濯、調理は必要以上にかんばってしまい、疲れてしまう。遅刻も増えている。 昆虫博物館に行きたい気持ちはあるが、疲れてしまいかんば行くことができない。</p> <p>○生活支援員から GHピアハウスの世話人から聞き取った生活の様子を報告。 帰宅後、疲れている様子。家事は必要以上にかんばってしまい、そのことで更に疲れてしまうことが課題。 また、しばしば「自分だけだ」と思いつつ、悩み傾向が強くなっているのが心配。 GHでは、スマイルの利用時間を減らし、ゆつくり身の回りのことをする日課設定を検討中とのこと。 また、朝起き難いとのこと遅刻が多い。 遅刻の連絡は必ずあるが、その電話をかけるのもストレスになっているかもしれないと感じる。</p> <p>○職業指導員から 就労アセスメントに基づいて、製造や木工作业を中心にプログラムを組んでいる。 経験としてその他の下請け作業にも参加してもらっている。 下請け作業も手先の器用さを活かしてそつなくやっている。しかし、集中力できず、すぐ疲れてしまう様子で、基本作業時間を延ばすことを試行したが現時点では困難だと判断している。 毎週水曜日に面談の日を設けたが、自分の気持ちをストレートに話すことができず、黙って込んで殻に閉じこもることがある。 面談日の設定や、面談の進め方を検討したい。</p>			
今後の課題 および確認等	<p>・今後就労に向かうためにも、日常生活を見直し、生活リズムを整え、生活リズムを整えることを優先した支援が必要。そのため、グループホームとの連携を密にして支援の見直しをする。 ・ご本人が自分に自信がなく、しばしば自分はダメだと思い、思いつつ悩むようなので、就労アセスメントの手法を用いて、ご本人の得手として評価できることを丁寧に伝え、その上で、強みを伸ばし、弱みを支援するという方向で、プログラムや支援を組み立てる。</p>		
	<p>○検討事項</p> <p>①就労訓練と安定した生活を送るための支援を同時に継続していくかどうかを検討する。 ②就労に向けて前向きに取り組めるプログラムや支援内容を具体的に考える。 ③面談の設定、面談の進め方を検討する。</p> <p>○対応</p> <p>①グループホーム入居と就労訓練が併行して始まり、ご本人にとって、初体験することや新しいことが重なり、心身ともにストレスがかかっているように見える。 ご本人の気持ちに迷いや、自分ひとりでは整理できない思い等があるため、早期にサービス担当者会議を開催して、サービスの調整を行う。 サビ管から相談支援専門員に連絡、依頼する。 今後は、グループホームと密に連携をとって、支援を組み立てていく。</p> <p>②「就労したい」という意思は確認できるが、「自分では決められない・自分に自信がない」等、前向きな思考ができない。 就労アセスメントの結果を再度丁寧に説明し、自分の強みや得手なことを確認する。ご本人が納得できるように、何度も繰り返して一緒に確認し、話し合う。 アセスメントの結果説明は職業指導員が担当する。</p> <p>就労訓練の日課や週案については、この会議で案を作成し、サービス担当者会議に提案する。後日、改めてご本人の気持ちを確認し、家族・グループホーム側の同意もらい実施する。</p> <p>具体的には、 就労訓練は午前中のみの2時間を基本作業時間とする。昼食後に帰宅する。 ご本人が得意とし、評価も高い、手先の器用さと製品の完成度が求められる作業だけに取り組み、成功体験・達成感が感じられるような支援をする。</p> <p>③ご本人が話しやすい人間関係を作るため、面談日を増やし、面談担当は変えず、生活支援員の鈴木が行う。</p> <p>④楽しみにしている昆虫博物館への見学はグループホームの支援として設定して頂きたい。</p>		

利用者氏名：水道橋久さん

作成年月日 R03 / ● / ●

【サービス等利用計画の総合的な方針】

グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援B型では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できる力をつけることや、生活上の楽しみをみつけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるように支援する。
 (★但し、サービス等利用計画に変更があった場合は、変更後の方針を記載する)

【ご本人の希望や願い (到達目標)】 掃除や洗濯、調理など生活していく上での力をつけて、自分のことは自分でできるようになることを目指す。★主語は「ご本人は…。」

【短期目標】 ★主語は「ご本人と支援者は…」

- ①グループホームの生活に慣れる ②決まった時間に起きる。 ③困りごとを相談する。
 ④生活上の楽しみをみつけるための相談をする。

【長期目標】 ★主語は「ご本人と支援者は…」

- ①掃除や洗濯、調理などの生活していく上での力や生活リズムを身につける。②わからないことと困りごとや相談して解決できるようにになる。③この間にみつけた生活上の楽しみを続ける

具体的な到達目標及び支援計画等

具体的到達目標 ★主語は「ご本人は…」	本人の役割 ★主語は「ご本人は…」	支援内容（内容・留意点等） ★主語は「支援者は…」	支援期間 （頻度・時間・期間等）	担当者	優先順位
自分でできることを増やしていきたい	掃除や洗濯、調理など、まずは出来ることからやってみます。分からない時には、豊田さん、名古屋さんに相談します。	調理器具の使い方、料理の作り方、洗濯機の使い方や干し方、掃除機のかけ方などを丁寧に教えます。毎日すると疲れてしまうので、曜日を決めていきます。	火：洗濯 水：掃除 木：調理 土：洗濯	豊田(世話人) 名古屋 (生活支援員)	3
朝、起きる時間を決めて、自分で起きて仕事に行けるようになりたい	ゆっくり入浴して、1時間早めに就寝する。目覚ましをかけて自分で決められた時間に起きるようにします。	ゆっくり入浴して、1時間早めに就寝するリズムをつくることをお手伝いします。目覚ましを鳴り続けていて、起きてこない時には、職員が声を掛けさせてもらいます。遅刻しそうな日は、朝食をおにぎり弁当をつくります。	月～金の朝7時頃	豊田(世話人) 名古屋 (生活支援員)	1
生活上のわからないことや困りごとを相談できるようになりたい	わからないことや困りごとは早めに相談します。引き続き、毎日の出来事を豊田さん、名古屋さんに話していきます。	わからないことや困りごとはいつでも話を聞きます。毎日の出来事について話を聞きます。	わからない時、困った時はいつでも 毎日 夕方 5時	豊田(世話人) 名古屋 (生活支援員)	3
楽しみをみつきたい。	昆虫などの趣味や友だち活動等の生活上の楽しみについて話をしてください。日曜日に1時間の趣味の時間をつくります。	久さんが楽しいと思うことを一緒に探したいと思います。昆虫の博物館のパンフレットを取り寄せて、見学の計画を立てましょう。日曜日の趣味の時間をうまくつかえるように支援します。	第2・第4土曜日 朝10時 日曜日 朝10時	川崎 (サビ管)	2

上記の計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意致しました。

確認年月日：令和 年 月 日 利用者氏名

印

サービス管理責任者氏名

川崎

印

21 就労継続支援B型事業所で行う個別支援計画の一例(変更案)

利用者氏名： 水道橋 久さん

作成年月日 R02 / ● / ●

【サービス等利用計画の総合的な方針】

(グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援B型では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できる力をつけることや、生活上の楽しみをみつけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるよう支援する。
★但し、サービス等利用計画に変更があった場合は、変更後の方針を記載する)

【ご本人の希望や願い(到達目標)】

自分のやりたい仕事、自分に合う仕事を見つけ、3年後には一般就労をして立派な人になる。★主語は「ご本人は・・・」

【短期目標】 ★主語は「ご本人と支援者は・・・」

- ①日常生活を見直して、生活リズムを整える。
- ②不安に思うことは何でも相談できるようにする。

【長期目標】 ★主語は「ご本人と支援者は・・・」

- ①グループホームで安定した生活を送りながら、就労訓練に取り組み。
- ②基本作業時間を4時間に設定できるようにする。

具体的な到達目標及び支援計画等

具体的到達目標 ★主語は「ご本人は・・・」	本人の役割 ★主語は「ご本人は・・・」	支援内容(内容・留意点等) ★主語は「支援者は・・・」	支援期間 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先順位
困ったり、不安なことがあれば、すぐに相談できるようにしたい	自分の強み・弱み、得手・不得手を、分析しましょう。	就労アセスメントの結果を丁寧に説明し、一緒に、自分の強み・弱み、得手・不得手を具体的に分析する時間を持ちます。セールスポイントになる手先の器用さと完成度の高さが評価できる作業プログラムを優先的に作ります。	月～金 10:00～13:00	本田(サビ管) 松阪 (職業指導員)	3
困ったり、不安なことがあれば、すぐに相談できるようにしたい	困ったことや心配事がある時、気持ちが不安定になり、パニックになりそうな時は、すぐにスタッフに相談しましょう。	月と金の活動後に面談をする時間を作りますので、何でも話して下さい。 何か困ったことや心配事があった時にはいつでも話を聞きます。	面談:毎週月・金曜日 13:00～ 困った時・不安な時はいつでも	松阪 (職業指導員) 鈴木 (生活支援員) 本田(サビ管)	2
生活リズムを整えるため、日常生活を見直したい	就労訓練は午前中のみを設定し直しましょう。 通所時間を少し遅くして、自分のペースで通所の準備をしましょう。	就労訓練は毎日午前中の2時間に設定し、昼食後に帰宅できるようにします。 生活支援員が、通所や生産活動に取り掛かるまでの時間の流れを具体的に一緒に考えます。 グループホームのサビ管や世話人と連絡を取り合い、支援します。	月～金 10:00～13:00	鈴木 (生活支援員) 本田(サビ管)	1

上記の計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意致しました。

就労継続支援B型事業所「スマイル」

確認年月日： 令和 年 月 日 利用者氏名

印

サービス管理責任者氏名

本田 一郎

印

個別支援計画書

利用児氏名：

作成年月日： 年 月 日

利用児及び家族の生活に対する意向	
総合的な支援の方針	
長期目標 (内容・期間等)	支援の標準的な提供時間等 (曜日・頻度、時間)
短期目標 (内容・期間等)	

○支援目標及び具体的な支援内容等

項目	支援目標 (具体的な到達目標)	支援内容 (内容・支援の提供上のポイント・5領域(※)との関連性等)	達成 時期	担当者 提供機関	留意事項 (本人の役割を含む)	優先 順位

※5領域の視点「健康・生活」、「運動・感覚」、「言語・行動」、「認知・行動」、「人間関係・社会性」

提供する支援内容について、本計画書に基づき説明しました。

本計画書に基づき支援の説明を受け、内容に同意しました。

児童発達支援管理責任者氏名：

年 月 日 (保護者署名)

押印廃止

(別添)

参考様式（生活介護）厚生労働省HP（令和6年度障害福祉サービス等報酬改定について）より

個別支援計画書

利用者氏名：

作成年月日： 年 月 日

利用者及び家族の生活に対する意向	
総合的な支援の方針	
長期目標 (内容・期間等)	支援の標準的な提供時間等 (曜日・頻度、時間)
短期目標 (内容・期間等)	<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> <p>生活介護は記入必須 (生活介護の記載例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供時間 4時間 ・送迎に係る配慮 1時間 ・障害特性に係る配慮 30分 ・送迎時の修業等 30分 <p>合計のサービス提供時間 6時間</p> </div>

○支援目標及び具体的な支援内容等

項目	支援目標 (具体的な到達目標)	支援内容 (内容・支援の提供上のポイント等)	達成 時期	担当者 提供機関	留意事項 (本人の役割を含む)	優先 順位
<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> 支援をケア ゴリー化し て記載する 等の工夫に 使用。 </div>		<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> 使い方は任意だが、左に支援内容、右側にポイントを書く等。 </div>				

提供するサービス内容について、本計画書に基づき説明しました。

本計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意しました。

サービス管理責任者氏名：

年 月 日 (利用者署名)

押印廃止

個別支援計画

参考：神奈川県サビ児管研修検討部会より

作成年月日： 年 月 日

利用者氏名： _____

計画実行期間： 年 月 日 ~ 年 月 日

【サービス、利用計画の総合的な方針】

【ご本人の希望や願い(到達目標)】

【長期目標(内容・期間等)】

【短期目標(内容・期間等)】

具体的な到達目標及び支援計画等

具体的到達目標	本人の役割	支援内容 (内容・留意点等)	支援機関 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先 順位

上記の計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意致しました。

説明日： 年 月 日

利用者氏名： _____

印

作成者：

サビ児管管理責任者氏名 _____

印

説明者： _____

令和6年度神奈川県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者 基礎研修
演習カリキュラム(タイムスケジュール)
 (時間は目安です。当日の進行状況により変動します。)

時間目安	内容詳細
9:30	オリエンテーション
9:35	セクション①-1 ▪講師陣の紹介(統括から) ▪演習ガイダンス
	9:55
10:05	セクション②-1 ▪サービス担当者会議への参加準備 利用者概要の把握
	10:20
10:50	休憩
11:00	セクション③ ▪サービス担当者会議体験 ロールプレイ[講師陣によるデモンストレーション]
	11:25
11:55	昼休憩
12:45	セクション④-2 ▪サービス等利用計画の説明 ニーズ整理(個ワーク)+ニーズ整理(Gワーク)
	13:40
14:35	
15:05	セクション⑥-1 個別支援計画の説明(参考例を基に)
15:15	休憩
15:25	▪演習ガイダンス2 ▪サービス担当者会議2のロールプレイ(モニタリング)
	16:00
16:50	休憩
17:00	モニタリング振り返り
17:10	セクション⑦ ▪個別支援計画【修正案】の作成
	17:45
17:50	振り返りとまとめ ▪【演習2】の振り返り 研修全体の総括
	18:25
18:40	修了書の発行・事務連絡

P260 の次

グループホームピアハウスの概要

- ・ 共同生活援助事業所(介護サービス包括型)
 - * 夜間は連絡体制のみ
- ・ 入居定員4名 現在 男性3名利用中
- ・ 建物 戸建住宅 5LDK
- ・ 居室4室(8畳) 世話人室 リビング(共有スペース)、お風呂、トイレ、洗面所、キッチン共有
- ・ 立地環境 住宅地の一角にあり、すぐ隣には公園がある。歩いて5分の所にコンビニ、スーパーなどがあり、駅までも徒歩15分程度。
- ・ サービス管理責任者 — 川崎 まさお
 - * 普段は別にある事務所にいて、他に2ヶ所のホームも見ている。
- ・ 世話人 — 豊田 のぞみ 月～金 6:00～9:00、15:00～20:00
(1日 計8h勤務)
- ・ 生活支援員 — 名古屋 はやて 土・日 8:30～17:30(8h勤務)

31

P284「連携ということ」の次

③利用者主体ということ

- ・ 2つの事業所を利用している場合、どちらの事業所の計画もしっかりしたものが作成される。
- ・ しかし、そのしっかりした計画が、時に、利用者にとって窮屈になっていないか(ご本人が置き去りになっていないか)確認する必要がある。



- ・ 福祉サービスを提供する際には、利用者がそれらを主体的に活用して、人生を歩めるよう支援していくことが重要

人生の主人公は
利用者本人



96